

2003年春号記事掲載



MAGGIOLINA マジョリーナ・シリーズ

トップライン・カップル	130X205X95cm (展開時)	約55kg
トップライン・ミディアム	150X205X95cm (展開時)	約60kg
仕様：出入り口（一部所）、三角小窓（二箇所）、大窓（一部所）、出入り口および窓部に防虫ネット付き。ステンレスフック装備。オーバーヘッドライト（12V） 付属品：システムベースキャリア用取り付け金具、ハンドル、アルミラダー、マットレス、枕（2個/3個）		
アドベンチャー・カップル	130X200X95cm (展開時)	約55kg
アドベンチャー・ファミリー	160X215X95cm (展開時)	約70kg
仕様：ルーフラック付き、出入り口（一部所）、三角小窓（二箇所）、大窓（一部所）、出入り口および窓部に防虫ネット付き。ステンレスフック装備。オーバーヘッドライト（12V） 付属品：システムベースキャリア用取り付け金具、ハンドル、アルミラダー、マットレス、枕（2個/3個/4個）		
エアランド・カップル	130X210X95cm (展開時)	約65kg
エアランド・ミディアム	150X210X95cm (展開時)	約67kg
エアランド・ファミリー	160X215X95cm (展開時)	約68kg
仕様：セパレート式出入り口（一部所）、三角小窓（二箇所）、大窓（一部所）、出入り口および窓部に防虫ネット付き。小物入れ（4箇所）、換気口（4箇所）ステンレスフック装備。オーバーヘッドライト（12V） 付属品：システムベースキャリア用取り付け金具、ハンドル、アルミラダー、マットレス、枕（2個）		
エクストリーム・カップル	130X210X95cm (展開時)	約60kg
仕様：セパレート式出入り口（一部所）、三角小窓（二箇所）、大窓（一部所）、出入り口および窓部に防虫ネット付き。小物入れ（4箇所）、換気口（4箇所）ステンレスフック装備。オーバーヘッドライト（12V） 付属品：システムベースキャリア用取り付け金具、ハンドル、アルミラダー、マットレス、枕（2個）		
問い合わせ先：ZIFER JAPAN (ジファー・ジャパン)		
URL: http://www.ziferjapan.com E-mail: info@ziferjapan.com		

す。複数本で分散させるのも安心度は高くなりますね。

デイスカバリーのルーフに実際に装着して取材を行うことにした。密泊することとは叶わなかったが、設置と撤収を繰り返して使い勝手を検証してみた。率直な印象は「これは簡単便利」である。車高をリフトアップしているデイスカバリーなので作業位置が高いというのが、敢えて挙げるとすれば難点。ただ、これも車傾斜の問題なので、ルーフテントの使用感を損なうものではない。

ルーフを完全に上げると室内高は約90cm。広い開口部が左右両側に設置されているためか、思いの外閉塞感はない。フロアの面積は例えるならセミダブルベッドサイズだ。ひとり寝るには十分なスペース。カップルなら許せるだろうが、野郎ふたりは過剰なところだ。地上2mのところにテントがあるのは不思議な感覚だ。ツリーハウスの秘密の隠れ家風情である。おとなでも思わずほくそ笑んでしまうのだから、こりや、子供は楽しんでたまるなだらう。

テントのフロア部分にはFRPのシェ

マットレスが敷き込まれる。平面が保たれるので快適。冬でも全く寒い思いをするのではないだろう。テントキャンブで眠れない原因が地面が平坦でないことやしんと冷えが伝わってくるからだ。このふたつの要素は完全にクリアしているわけだから、快適な睡眠が得られるのは間違いない。

冒頭の写真を見ていただければ分かる通り、室内にランタンを仕込んでフアブリックのウォールからはほとんど灯りが透けてこない。それほどにしっかりと生地が採用されているのだ。これは、DUALONという素材を用い、通気性を保ちながら防水を実現しているという。シェルの上蓋もFRPが用いられて堅固な作りだ。テント収納時でも、内部にある程度の荷物を納めることができるのが嬉しい。

かなり駆け足で紹介してきたので端折っているところも多いし、ジファーのルーフテントにはまだ多様なスタイルの製品がある。LRMでは、今後も継続してルーフテントのレポートを続けようと考えている。楽しみにしていただきたい。